

“常磐もの” 大好評につき、宮城・埼玉・東京の3都県へ展開 10月19日より、福島鮮魚便コーナーを8店舗に拡大

福島県と福島県漁業協同組合連合会（以下「JF福島漁連」）、イオンリテール株式会社（以下「イオンリテール」）は、2018年10月19日（金）より『福島鮮魚便』コーナーの展開を宮城・埼玉・東京の計8店舗に拡大します。

福島県の鮮魚を、いち早く店舗へお届け！



潮目の恩恵を受けた豊かな漁場である福島県沖では、沿岸漁業での試験操業が現在も続けられています。2018年10月現在、主要魚種すべて※¹の出荷が再開されており、2018年6月1日（金）にイオン5店舗で開始した福島鮮魚便コーナーでは、お客さまからもその品質に好評をいただいています。これをうけて福島県とJF福島漁連、イオンリテールは、福島県水産物のさらなる販売体制の構築を目指して、当初の5店舗から3店舗拡大し、宮城県・埼玉県・東京都の3都県において計8店舗での福島鮮魚便コーナー展開を実施します。

【福島鮮魚便コーナーの概要】

販売期間：2018年6月1日～2019年2月28日※²

実施店舗：イオン板橋店（東京都板橋区）、イオン東久留米店（東京都東久留米市）、
イオンむさし村山店（東京都武蔵村山市）、イオンスタイル品川シーサイド
（東京都品川区）、イオンスタイルレイクタウン（埼玉県越谷市）

店舗拡大期間：2018年10月19日～2019年2月28日※²

拡大店舗：イオン名取店（宮城県名取市）、イオン浦和美園店（埼玉県さいたま市）、
イオン日の出店（東京都西多摩郡日の出町）

展開店舗数：宮城県1店舗、埼玉県2店舗、東京都5店舗 計8店舗

※¹：国の出荷制限等指示を受ける7魚種（ウミタナゴ、クロダイ、サクラマス、ヌマガレイ、ムラソイ、ピノスガイ、カサゴ）を除きます。

※²：終了日は変更になる場合がございます。

今後もイオンリテールは、福島県産の水産物が全国の食卓で楽しんでいただけるよう、活動を続けてまいります。

■ 試食販売員・売場イメージ



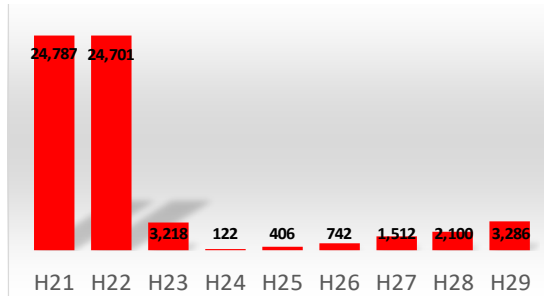
イオンスタイル品川シーサイド 福島鮮魚便コーナー

『福島鮮魚便』 販売スタッフについて

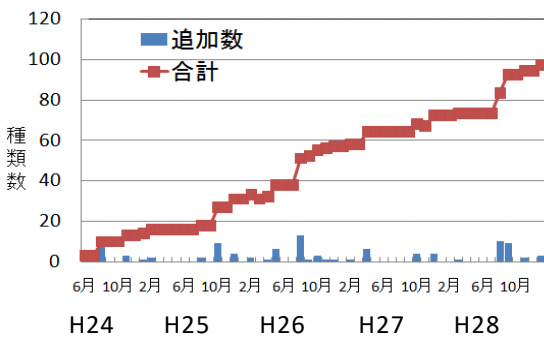
売場に常駐する販売スタッフが、その日販売している鮮魚について試食販売を実施し、安全・安心と美味しさをお伝えします。

メヒカリやヒラメなど、旬ごとに色々なお魚の食べ方提案なども行ってまいります。

■ 福島県産水産物の現状



県内の沿岸漁業の漁獲量推移 (トン)



試験操業対象種の拡大経過状況

沿岸漁業の漁獲量推移について

2017年、福島県内における沿岸漁業の漁獲量は震災前10年間平均の12.6%とまだ低い水準です。今後も、三者協同により安定した福島県産水産物の販売体制を構築できるよう努めてまいります。

試験操業対象種について

試験操業対象種は当初3魚種から始まりましたが、2018年6月のスズキなど6魚種の試験操業開始、また8月末のヒラメの出荷再開により2018年10月現在“常盤もの”と呼ばれる主要魚種すべてが試験操業の対象となっています。

■ 福島鮮魚便コーナー 取扱水産物の一例

メヒカリ、マガレイ、ナメタガレイ、アンコウ、ヒラメ、ワタリガニ、カツオ、ピンチョウマグロ、アカムツ(ノドグロ)、アナゴ、ホッキ貝など。ナメタガレイ、アンコウ、ピンチョウマグロなどが特に人気です。また秋から冬にかけて、サンマやマガレイなどが旬を迎えます。

